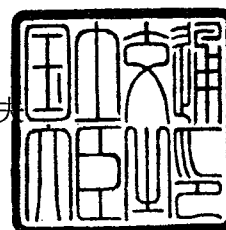


認定書

国住指第 1826 号
平成 22 年 9 月 21 日

オーウェンス コーニング ジャパン株式会社
代表取締役 武田 哲夫 様

国土交通大臣 馬淵 澄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 63 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DR-0832
2. 認定をした構造方法等の名称
砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・木質系
ボード表張／鋼製下地屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・木質系ボード表張／鋼製
下地屋根

2. 形状及び寸法等

項 目	申 請 構 造
表面形状	シート状
厚さ (mm)	11.8 _{±0.8} 以上 (下地を除く)
傾 斜 角	0° ~70°

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
葺き材	<p>砂付ガラス繊維入アスファルト系シート：</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) タイプA (別添-6 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ：$336_{\pm 5} \times 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$5.8_{\pm 0.6}$ (凹部 $2.9_{\pm 0.3}$) ・ 質量：1.46kg/枚～2.13kg/枚 ・ 質量(施工面積)：10.2kg/m²～15.0kg/m² (有機質量 3.3kg/m²以下) ・ 構成^{※1} <p>(2) タイプB (別添-6 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ：$336_{\pm 5} \times 984_{\pm 10} \sim 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$5.6_{\pm 0.6}$ (凹部 $2.8_{\pm 0.3}$) ・ 質量：1.27kg/枚～2.0kg/枚 ・ 質量(施工面積)：8.9kg/m²～14.2kg/m² (有機質量 3.13kg/m²以下) ・ 構成^{※1} <p>(3) タイプC (別添-6 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ：$333_{\pm 5} \times 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$2.8_{\pm 0.3}$ ・ 質量：1.13kg/枚～1.68kg/枚 ・ 質量(施工面積)：7.9kg/m²～11.7kg/m² (有機質量 2.58kg/m²以下) ・ 構成^{※1} <p>※1 構成</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 鉱物系粒子 <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積) 2.7kg/m²～4.8kg/m²、粒径 1～3 [2] 無機質系充てん材混入アスファルト <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積) 4.7kg/m²～8.8kg/m² 組成 { <ul style="list-style-type: none"> アスファルト…………… 1.6kg/m²～3.1kg/m² 無機質系充てん材 (炭酸カルシウム等) …… 3.1kg/m²～5.7kg/m² [3] ガラス繊維マット <ul style="list-style-type: none"> …厚さ 0.3～0.5 質量(施工面積) 0.15kg/m²～0.4kg/m² 組成 { <ul style="list-style-type: none"> ガラス繊維…………… 0.1kg/m²～0.3kg/m² アクリル系樹脂バインダー…………… 0.05kg/m²～0.1kg/m² [4] けい砂 <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積) 0.3kg/m²～0.8kg/m²、粒径 0.1～1 [5] 接着剤：無機質系充てん材混入アスファルト系 <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積) 0.05kg/m²～0.2kg/m² 組成 { <ul style="list-style-type: none"> アスファルト……………0.05kg/m²～0.1kg/m² 無機質系充てん材 (炭酸カルシウム等) …… 0kg/m²～0.1kg/m² <p>但し、[1]～[5]を合わせた無機質の比率を78%以上とすること</p>

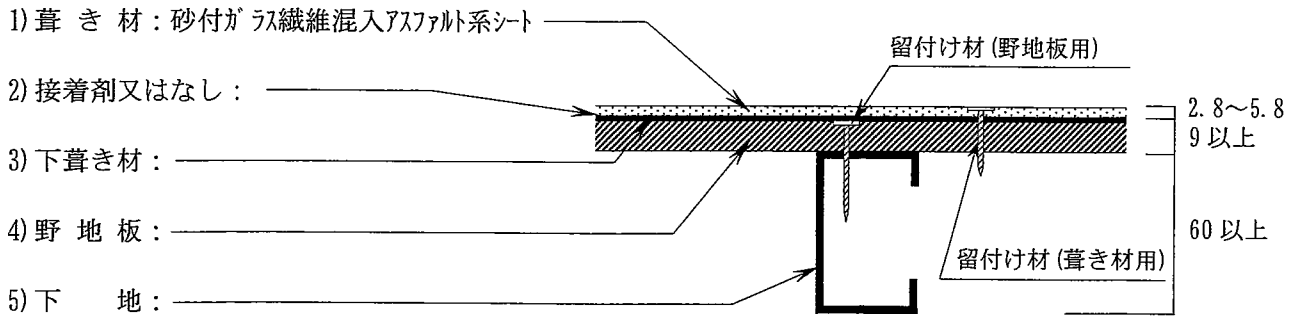
項 目	申 請 構 造
接着剤 (葺き材用)	(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルト系 ^{※2} ・質量：5g/箇所(固形量)以下[有機質量3g/箇所以下] ・組成(質量%)：{ アスファルト……40～60 { けい砂……40～60 ※2 葺き材一枚につき最大3箇所塗布する (2) なし
下葺き材	アスファルト系ルーフィング：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルトルーフィング940(JIS A 6005品及び適合品) ・質量0.94kg/m ² ～1.2kg/m ² (有機質量1.1kg/m ² 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100 (2) 改質アスファルトルーフィング ・質量0.76kg/m ² ～0.86kg/m ² (有機質量0.86kg/m ² 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100 (3) 改質アスファルトルーフィング ・質量0.93kg/m ² ～1.16kg/m ² (有機質量0.96kg/m ² 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100 (4) 改質アスファルトルーフィング ・質量1.0kg/m ² ～3.0kg/m ² (有機質量2.73kg/m ² 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100
野地 板	木質系ボード：I～Vのうち、いずれか一仕様とする I. 普通合板(JAS) ・厚さ：9 _{±0.5} 以上 II. 構造用合板(JAS) ・厚さ：9 _{±0.5} 以上 III. 耐水合板(JAS) ・厚さ：9 _{±0.5} 以上 IV. 素地パーティクルボード(JIS A 5908) ・厚さ：9 _{±0.5} 以上 V. OSB(JIS A 5908) ・厚さ：9 _{±0.8} 以上
下 地	鋼製下地 ・形状寸法：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ① □ -60×30×10×1.6の断面寸法以上 ② □ -60×30×1.6の断面寸法以上 ・間隔：606以下

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
留 付 け 材	<p>[1] 葺き材用：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス ・寸法：φ1.7以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(2) シングルくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.9以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(3) タッピングビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.1以上×L16以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(4) 十字穴付き木ねじ (JIS B 1112)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法：φ2.1以上×L16以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(5) シングル用特殊ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.6以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>[2] 野地板用：タッピングビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ3.5以上×L25以上 ・間隔：500以下

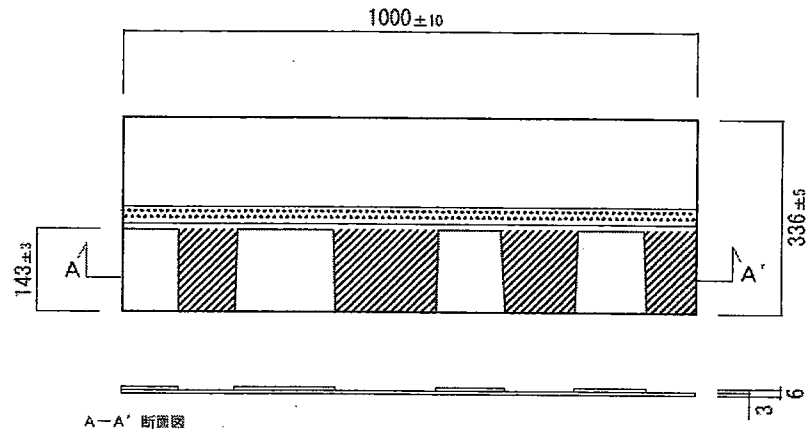
4. 構造説明図 (寸法単位: mm)



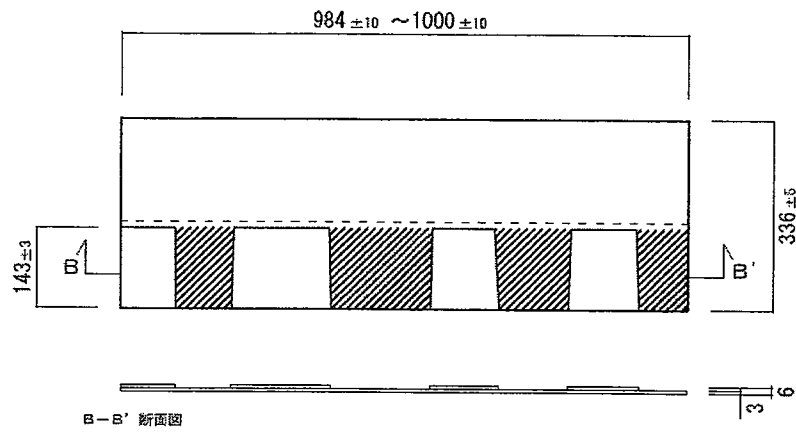
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

<葺き材形状図>

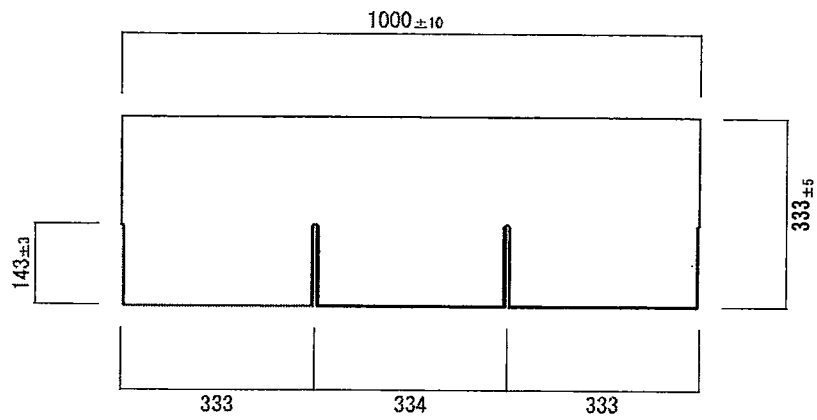
タイプA



タイプB

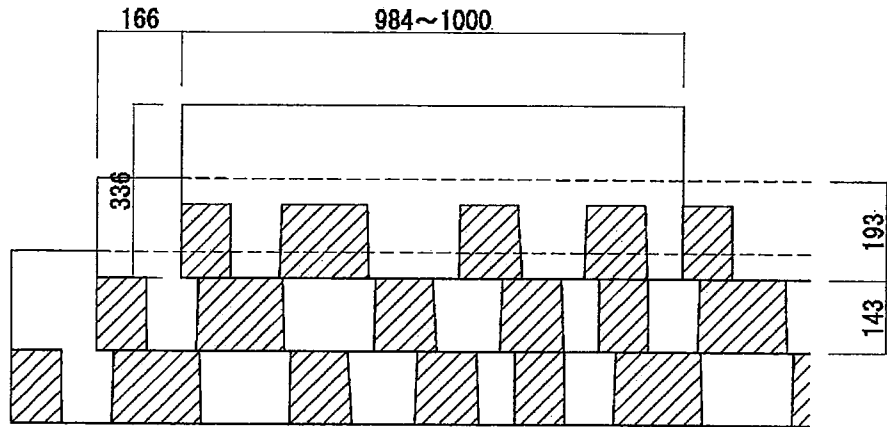


タイプC

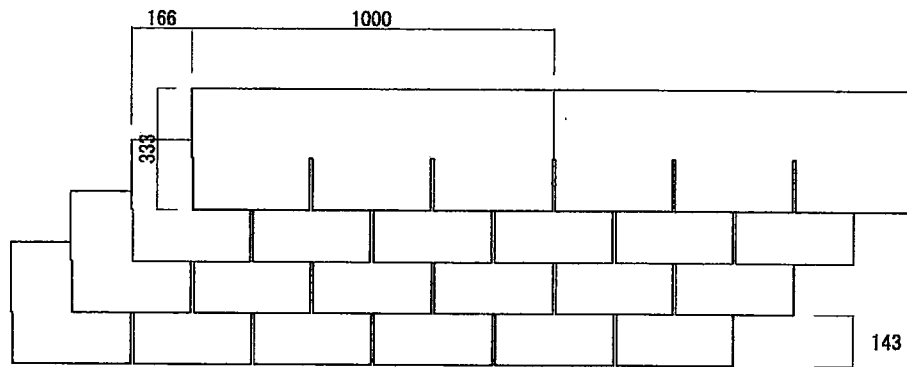


<重なり寸法図>

タイプA, B

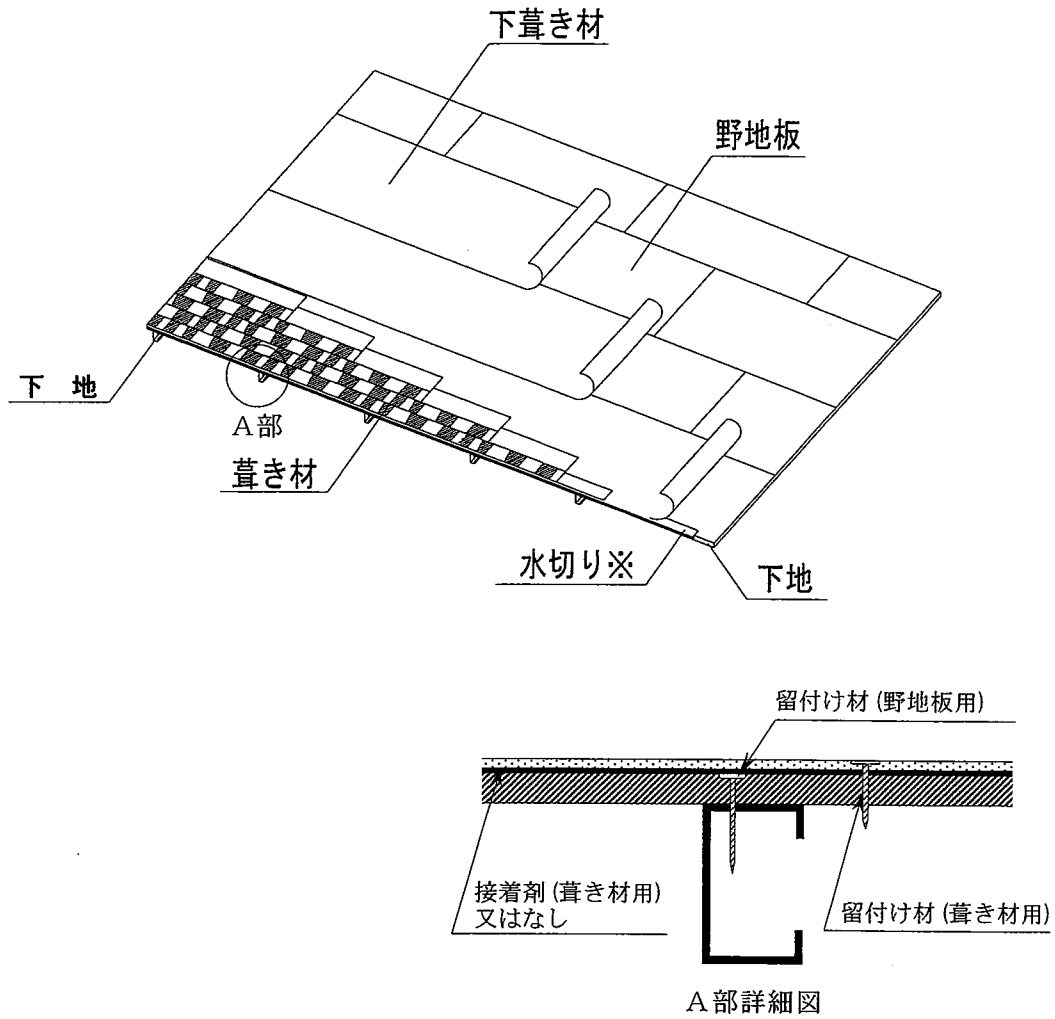


タイプC



5. 施工方法等

<施工図>



<施工手順>

- ①下地を定められた間隔で施工する。
- ②野地板を敷きつめ、留付け材で下地に留付ける。
- ③下葺き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葺き材の中段に塗布する。但し、葺き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葺き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* : 本評価内容に含まない。